

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,586	8.7	338	15.1	337	20.0	222	13.6
2022年12月期第2四半期	1,460	13.6	294	52.7	281	48.7	195	58.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 259百万円(1.7%) 2022年12月期第2四半期 255百万円(75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	33.50	33.19
2022年12月期第2四半期	29.49	29.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,419	2,547	72.7
2022年12月期	3,118	2,269	71.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,486百万円 2022年12月期 2,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	6,751,000株	2022年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	116,736株	2022年12月期	124,696株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	6,627,604株	2022年12月期 2 Q	6,626,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、サイバー空間とフィジカル空間の一体化(CPS: Cyber Physical Systems)が進展し、フィジカル空間における物理的なやり取りがサイバー空間においてデジタルデータの形で再現され、AI等の活用により、フィジカル空間の随時の状況把握や、その情報を基に次の行動の判断を行うことが可能になると見込まれており、CPSを社会経済活動に最大限活用するデータ主導型のSociety5.0の実現へと向かっております(出典:総務省「令和5年版 情報通信白書」)。

このような環境のなかで当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え、あらゆる物質や細胞までにリーチするIoE(Everything)、そして人間の能力を拡張させるIoA(Abilities)分野における研究開発・ビジネスデザイン及びプロジェクトを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス(サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル)の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第2四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は121,595千円純増しました。これにより、上場以来34四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、ウクライナをめぐる国際情勢の長期化や米中対立等の地政学リスクに加え、諸外国のインフレや欧米諸国での政策金利引き上げ及び大幅な為替変動などの影響を受けることなく極めて堅調に推移しております。なお、先行投資は過去最高を超える金額を継続して実施しており、今年最大級の経営破綻に至ったFCNT株式会社向け売掛債権の回収が困難になる可能性が生じたことによる15,811千円の損失計上(引当処理)はありましたが、当第2四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+15.1%、経常利益の前年同期増減率は+20.0%と堅調な増加となりました。

昨今、IoT市場では、製造機器のサブスクリプションといえるEaaS(Equipment as a service)が注目を集めており、大量生産・大量出荷型モデルからの転換が起り始めています。このEaaSは、当社がかねてより予測し、志向し続けたIoTビジネスのあり方そのものであり、IoTエンジン「NEQTO」をベースにEaaSを支えるNo.1コアエンジン(IoTソフトウェア)のライセンス及びOEM提供を目指してまいりました。Tridium, Incが開催するコネクテッドビルディングとスマートシティに関する業界最大のイベント「ナイアガラフォーラム2023」へ参画・出展し、戦略的なプロモーションを積極的に行っており、第1弾として米国MLBチームであるサンディエゴ・パドレスの本拠地であるPetco Parkに当社グループのIoT技術を活用したタッチパネル式のデジタルサイネージを設置し、スタジアム全体の運営を一元化するプロジェクトを進めております。さらに、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」は、データコントロール事業に密接に関連し、重要な社会インフラとなっているクラウド環境における企業ニーズを背景に前年同期と比較して取引総額が557,618千円(前年同期比75.0%増)拡大しました。引き続き、今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資の金額は過去最高を更新し、前年同期と比較し約75,000千円増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,586,786千円(前年同期比8.7%増)、営業利益338,953千円(前年同期比15.1%増)、経常利益337,794千円(前年同期比20.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益222,053千円(前年同期比13.6%増)となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、2,524,509千円(前連結会計年度末比211,848千円増)となりました。これは主に、その他に含まれる前払費用が増加(前連結会計年度末比186,777千円増)、売掛金が増加(前連結会計年度末比23,867千円増)したことによるものであります。

また、固定資産は、895,020千円(前連結会計年度末比88,921千円増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が増加(前連結会計年度末比92,233千円増)したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,419,529千円となり、前連結会計年度末に比べ300,769千円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、851,553千円（前連結会計年度末比51,310千円増）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比20,175千円増）、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比13,700千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、20,421千円（前連結会計年度末比28,951千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比30,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、871,974千円となり、前連結会計年度末に比べ22,358千円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,547,555千円（前連結会計年度末比278,410千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比187,728千円増）したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,345,723千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、142,304千円（前年同期は106,049千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益337,794千円の計上により資金が増加したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により支出した資金は、97,183千円（前年同期は12,676千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出94,863千円により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は、30,181千円（前年同期は28,645千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出30,000千円により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,363,407	1,351,190
売掛金	834,503	858,371
その他	115,165	315,615
貸倒引当金	△415	△668
流動資産合計	2,312,661	2,524,509
固定資産		
有形固定資産	254,909	238,109
無形固定資産	38,699	36,191
投資その他の資産		
投資有価証券	125,435	139,469
敷金及び保証金	234,388	326,621
繰延税金資産	114,238	117,740
その他	38,968	53,239
貸倒引当金	△540	△16,351
投資その他の資産合計	512,490	620,719
固定資産合計	806,099	895,020
資産合計	3,118,760	3,419,529
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	414,974	435,150
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	120,337	134,037
その他	204,930	222,364
流動負債合計	800,242	851,553
固定負債		
長期借入金	45,000	15,000
その他	4,373	5,421
固定負債合計	49,373	20,421
負債合計	849,615	871,974
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	2,070,343	2,258,072
自己株式	△566,158	△530,047
株主資本合計	2,165,873	2,389,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,647	23,836
為替換算調整勘定	43,012	72,667
その他の包括利益累計額合計	58,659	96,504
新株予約権	44,611	61,338
純資産合計	2,269,145	2,547,555
負債純資産合計	3,118,760	3,419,529

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,460,005	1,586,786
売上原価	444,220	479,550
売上総利益	1,015,784	1,107,236
販売費及び一般管理費	721,324	768,282
営業利益	294,459	338,953
営業外収益		
受取利息	13	41
受取配当金	198	2,677
その他	51	302
営業外収益合計	263	3,021
営業外費用		
支払利息	129	78
為替差損	13,107	4,101
その他	95	1
営業外費用合計	13,332	4,181
経常利益	281,390	337,794
税金等調整前四半期純利益	281,390	337,794
法人税、住民税及び事業税	86,647	120,326
法人税等調整額	△713	△4,585
法人税等合計	85,933	115,740
四半期純利益	195,456	222,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,456	222,053

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	195,456	222,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,100	8,188
為替換算調整勘定	45,995	29,655
その他の包括利益合計	60,095	37,844
四半期包括利益	255,552	259,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,552	259,897
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	281,390	337,794
減価償却費	32,225	28,393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△593	16,063
受取利息及び受取配当金	△211	△2,719
支払利息	129	78
売上債権の増減額 (△は増加)	△115,686	△23,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,759	20,175
前払費用の増減額 (△は増加)	△125,613	△186,491
その他	102,739	47,378
小計	209,138	236,806
利息及び配当金の受取額	43	451
利息の支払額	△129	△78
法人税等の支払額	△103,002	△94,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,049	142,304
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,660	△805
無形固定資産の取得による支出	△9,205	△1,513
敷金及び保証金の差入による支出	△1,810	△94,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,676	△97,183
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
自己株式の処分による収入	3,250	2,000
その他	△1,895	△2,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,645	△30,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,842	△27,730
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,886	△12,789
現金及び現金同等物の期首残高	1,121,259	1,358,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,145,145	1,345,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。